



# よるんちよう 議会だより

## 第128号

2018年／平成30年8月2日

発行 与論町議会  
編集 広報常任委員会  
〒891-9301  
鹿児島県大島郡与論町茶花32-1  
TEL 0997(97)3201  
FAX 0997(97)4197



観光客で賑わう百合ヶ浜

採 択 し た 陳 情

(P3)

6月  
定例会

奄美群島市町村議会議員大会

(P4)

一般質問

7人が登壇！町政を問う

(P5～P11)

# 一般会計予算は 42億6890万円 (2億2857万円を追加)

## 主な補正

リーディングプロジェクト推進費	1761万円
町立こども園費	1593万円
庁舎建設基金費	1億円
学校校舎等建築促進基金費	5000万円
豪雨災害関連対策費	2200万円

平成三十年第二回定例会を六月十五日から二十一日までの七日間の日程で開いた。六月十五日は諸般の報告の後、7人の議員による一般質問を行い、町政全般について議論を交わした。その後議案審議を行い、条例案3件、補正予算案2件を原案の通り可決し、専決処分の承認1件を承認した。二十一日は最終本会議を開き、補正予算案1件を原案の通り可決した。

また、陳情2件の委員長報告があり、町道上畑線の拡幅改良舗装整備の陳情とオムツ廃棄処分費無料化についての陳情を採択した。最後に議員派遣の件と閉会中の継続審査・調査について決定し、会議を閉じた。

## 一般会計補正予算

会計名	補正前の額	補正額	計
一般会計	40億4033万円	2億2857万円	42億6890万円

## 特別会計補正予算

会計名	補正前の額	補正額	計
国民健康保険	7億9154万円	64万円	7億9219万円

※ 国民健康保険予算の数字については四捨五入のため合計は一致しない



# 採択された陳情

◎オムツ廃棄処分費無料化についての陳情

陳情者

大島郡与論町那間

与論町特別支援教育保護者会

会長 林 健一

採択理由

本件は、町内における障害のある子供や乳幼児及び寝たきり高齢者を対象としたオムツ入れごみ袋の無料支給を求める陳情であり、障害児や在宅寝たきり高齢者を抱える家庭の負担の軽減、さらには、少子化対策・子育て支援の必要性の観点から、全会一致で採択した。

◎町道上畑線の拡幅改良舗装整備の陳情

陳情者

大島郡与論町那間

那間自治公民館

館長 山下健勇

受益者代表 池田良武

採択理由

本路線は、地域の営農面、生活路線として利活用されており、路盤が弱いところや降雨時の車両等の運行による轍や路面水溜り状況があり、一般交通に不便を来していることから道路の円滑な通行や機能維持保全のため拡幅舗装整備の必要性が認められると判断し、採決の結果、全会一致で採択した。



町道上畑線

## 50年に一度の豪雨の状況

去る6月16日、50年に一度の記録的な豪雨に見舞われた。想像を絶する雨に島内至るところが冠水するなど交通にも支障を来し、住家の一部損壊3棟、床上浸水16棟、床上浸水29棟の被害があり、非住家にも床上浸水16棟、床上浸水2棟の被害があった。特に銀座通り信号機周辺の被害が大きく、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げたい。

災害は、忘れた頃にやってくると言われるが、これからが台風シーズン、その他、地震や津波等への備えも怠ることのないようにしたいものである。  
(豪雨の際に撮った写真の一部を掲載する)



JAコープ駐車場



信号機付近



空港トンネル入口



辻宮住宅付近

# 第61回奄美群島市町村議会議員大会

## 奄美群島振興開発特別措置法の延長・充実を望む



第61回奄美群島市町村議会議員大会（徳之島町）

去る5月16日、徳之島農協2階ホールにおいて、第61回奄美群島市町村議会議員大会が群島選出県議会議員や各市町村長等、来賓出席のもと盛大に開催された。

議事に先立ち自治功労者表彰があり、8人が表彰された。その後、各地区及び

議長会からの提出議題については、それぞれ代表者から提案理由の説明がなされた。

各地区関係では、①平土野港多機能港湾新設整備について（徳之島町・天城町・伊仙町）  
②乳幼児医療費助成事業・ひとり親家庭医療費助成事業・重度心身障害者（児）医療費助

成事業の窓口無料化について（和泊町・知名町・与論町）③主要地方道名瀬瀬戸内線の大金久〜戸円間トンネルの早期実現について（大和村・宇檢村・瀬戸内町）④国道58号おがみ山バイパスの整備推進について（奄美市）  
⑤喜界空港の整備について（龍郷町・喜界町）の5項目であった。

議長会からは、①奄美群島における海岸線の油の漂着について、②さとうきびの販売価格・国の政策支援価格の引上げ、基準糖度・基準糖度帯の引き下げについて、③平成31年度以降の奄美群島振興開発特別措置法の延長についての3項目であった。

また、平成30年度末で期限切れを迎える特別措置法の確実な延長と更なる充実強化によって、奄美群島の自

立的で持続可能な発展の実現と、地方創生による地域の活性化を、市町村議会として地域住民・行政と一体となり推進し、全力を尽くすことを宣言した。

最後に、①平成31年度以降の奄美群島振興開発特別措置法の延長・充実、②奄美群島振興交付金の充実・拡充、③奄美群島成長戦略ビジョンに基づく各種施策の推進、④地方創生に向けた取り組みの推進、⑤「奄美大島、徳之島、沖繩島北部及び西表島」の世界自然遺産登録の推進、⑥雇用の場の確保・拡充、⑦

情報通信ネットワークの整備・拡充、⑧交流人口拡大に向けた施策の推進と更なる支援策の拡充、⑨道路・港湾・空港など交通基盤の整備・充実、⑩さとうきび・園芸作物・畜産など産業基盤の整備

・充実、⑪重要病害虫ミカンコミバエ種群再侵入防止へ向けての適切な対応、⑫特殊病害虫、メイチュウ、不快害虫等及びイノシシ対策の充実・強化、⑬災害に強いまちづくりの推進、⑭名瀬測候所の地方気象台格上げ、⑮介護保険・老人保健福祉・社会福祉の充実・強化、⑯地域を支える人材の確保・育成、教育の推進、⑰医療の充実・強化、⑱独立行政法人奄美群島振興開発基金の充実・強化の18項目を決議して、大会を終えた。

その後、「アリモドキゾウムシ・イモゾウムシの昨日・今日・明日」と題して、奄美群島で再発生したミカンコミバエ種群の防除対策検討会議・座長の守屋成一氏による講演が行われた。



# 一般質問

7人の議員が登壇、町政を問う

## 町長 意識啓発とニーズの掘り起し等検討していく。

### シルバー人材センター等の設置を



沖野一雄議員

#### 町内産業の振興に係る人手不足対策

**沖野議員** 近年、町内経済の好転化で町民所得が伸びてきている一方で、産業振興を支える農業や商工業・サービス業等の現場において、人手不足を訴える声が高まりつつある。この雇用の確保問題については、今後の産業経済の発展を図る上で解決すべき重要かつ喫緊の課題と考えるが、町長は現状をどのように認識し、今後の具体

的対策をどう講じていく考えであるか。

**町長** 本町の農業経営を例にとると、ほとんどが家族労働を基本とした家族経営を行っていたが、近年は経営安定や所得向上を図る上で一部の農家では、島内外からの人材により規模拡大を図る農家も増えつつあるので、労働力の確保がますます重要課題となってきている。しかしながら、現在のところ秋から春にかけての農繁期のみでの雇用形態が多いことや安価な宿泊施設、農家までの通勤方法等、様々な課題があるのも現状として認識している。指摘のあった雇用の確保問題について、

今後の産業経済の発展を図る上で解決すべき重要課題と再認識し、関係機関や生産農家との連携を図りつつ、引き続き近隣市町村での優良事例等の調査も行いながら対応していく。

#### シルバー人材センター等の設置

**沖野議員** 平均寿命の伸びとともに元気な高齢者が増えつつある中、雇用及び人材の確保をめぐり需要と供給のニーズ対策として、シルバー人材センター等の組織活用が期待されるところであり、その設置については機が熟していると考えますが、町長はどのように

認識し、どう取り組んでいく考えであるか。

**町長** 今後、我が国の高齢化はますます進行し、併せて総人口の減少も進むことが見込まれている中で、本町でもあらゆる職場で人手不足が深刻な問題となっている。そこで、シルバー人材センターの活用策を模索することは、人手不足を解消する一つの方策かと考える。しかしながら、本町においては平成23年に与論町社会福祉協議会ミニシルバー人材センターを立ち上げ、様々なサービス提供の派遣募集を行っていたが、ほとんど応募が無く結局のところその試みが頓挫し

てしまった経緯がある。

これだけニーズが見込まれない中で、費用対効果を鑑みた場合、ハードルが高いものと考ええる。ただし、将来的なことを考えれば、シルバー人材の活用策は必要であり、意識啓発とニーズの掘り起し等検討していく。



地域福祉センター

# いじめ防止対策を

教育長 いじめ防止基本方針を策定し防止に努める。



高田豊繁議員

## タクシー利用券 助成制度の創設

**高田議員** 公共バス等の利用ができない地域の住民や免許がなく車両を運転できない高齢者等の交通弱者に対する「タクシー利用券助成制度」の創設計画はどうか。

**町長** 財政負担の面や助成対象者の選定及び公共交通バス路線維持の問題などクリアしなければならぬ様々な課題があるかと思われる。今後、交通弱者対策検討委員会において、様々な角度からの意見を集約して、方向性を示していきたい。

## 農業用ビニール 処理の適正化

**高田議員** 営農活動に伴う農業用廃ビニール処理については、町が受け付けて島外へ搬出する方法が最も安価で適正な処理方法だと思われるが、その考えはないか。

**町長** 農業用廃ビニール処理については、与論町農業用廃プラスチック類適正処理推進協議会等において協議し、島外搬出処理費用と機器導入処理費用を比較検討した結果、農家負担の少ない島外搬出処理を行うことが適当であるという結論に至った。今後、輸送体制を整えるため廃プラスチック類の受付及び集積場所についても関係機関と協議検討し、速やかに対応したい。

## 課設置の再編

**高田議員** 現在の町民福祉課は、分掌事務が膨大であり、町民課と福祉課に再編し執務の効率化を図るとともに、産業振興課は、農業委員会を含めた産業課と耕地課に再編し、よりフットワークが軽い行政サービス態勢を構築する必要があると痛感されるが、その考えはないか。

**町長** 行政ニーズの多種多様化や高度化に加え、担当業務の範囲も広範囲となってきた現在の現状なので、今後の課の再編については、職員の数管理や財政運営面、課の相互連携体制の構築等を考慮しながら検討していく。

## 公衆便所の設置

**高田議員** マラソンコースに隣接しているハキビナ墓地や船倉墓

地には、観光客や墓参者の利用、墓地管理の面からも公衆便所の設置が必要であると思われるが、その考えはないか。

**町長** ハキビナ墓地については、観光客の利用の面でも重要な場所であるが、建設用地の確保やその他要望箇所との調整を行う必要がある。課題に取り組みながら設置について検討していく。



船倉海岸近くの公衆トイレ

設置するには、ハードルが高いものと考え

る。船倉海岸端のトイレの他、車で2分程度の所に大金久公衆トイレもあるのが既設トイレを利用するよう案内看板の設置を行うなどの方法で対処していく。

## いじめ防止対策

**高田議員** 島の宝である子供たちの学校内いじめ防止対策について、教育長はどのような手立てを行っているか。

**教育長** 各学校でいじめ防止基本方針を策定し、「いじめの防止」「いじめの早期発見」「いじめの早期対応」に努めるとともに、道徳授業の充実にも努めている。なお、いじめは学校だけで発見・解決できるものではないことから、授業参観の実施やPTAや週報などを通じて家庭への啓発も行う。



# 食育・地産地消の推進を 町長 地元食材を利用した地産地消を推進。



林 敏治議員

## 食育・地産地消の推進

**林議員** 先日、県において「食育・地産地消」を推進する平成30年度かごしまの「食」交流推進会議が行われた。本町においても健康で豊かな食生活の実現に向けた推進体制を整備して「食育・地産地消」に取り組み考えはないか。

**町長** 児童生徒の日常生活における望ましい食事のあり方、食習慣を身につけさせるため、地域に根ざした学校給食を推進し、地場産物をより多く取り入れ安心、安全な学校給食を実施できるよう努めている。また、与論町生活研

究グループ連絡協議会では、地域の食材を活かした豊かな食生活の実践、食文化の伝承に関する講習や演習会の開催、小中学校で行われている給食交流会で子供たちに食のありがたさや地元食材を利用した伝統的食文化を紹介するなど関係機関と協力し「食育・地産地消」を推進している。



地場野菜販売所

## 農業振興対策

**林議員** かんがい施設の整備が遅れている古里地区などに畑かんの

整備を行い、干害対策や営農生産性の向上に積極的に取り組む考えはないか。

**町長** 古里地区の畑地かんがい施設整備については、過去に2回、意向調査を実施したが、同意率が低く事業推進を断念した経緯がある。島内の畑地かんがい施設整備地区では、干ばつになると溜め池の水が無くなり営農に支障をきたしている地区もあるので、不足している地区等へ水を補給できる新規事業導入について県と協議を進めている。古里地区についても、この新規事業の水源になりうる地区であるので、再度畑地かんがい施設整備や土層改良事業導入に向けて、要望調査等を実施し事業推進をしていきたいと考えている。

## ごみ処理対策

**林議員** 新ごみ焼却処理施設が稼働し、ごみの有料化や分別回収が行われている。今後、ごみステーションの適切な管理や徹底した分別指導を行い、ごみの減量化や生ごみ対策などを積極的に推進していく必要があると痛感されるが、町長はどう進めていく考えであるか。

**町長** 新ごみ焼却処理施設が平成29年4月から稼働し、ごみの有料化等により、対前年比で約20パーセント、数量にして424トンの可燃ごみの減量化が図られている。このことは、ごみ減量化に対する町民の意識の変化の現れだと捉えている。現在、生ごみ対策としてコンポストの3分の1購入助成を行っており一層の減量化に努

めていく。また、集落内のごみステーションの管理については、各集落の館長さんが中心となり地域住民と話し合いにより対応して頂いている。収集所清掃や美化については、利用者が協力して対応していただきたいと考えている。ごみの分別指導については、各家庭に配布予定の「ごみの分別・出し方」を見ていただき、引き続き適正なごみ出しに努めるよう協力をお願いしたいと考えている。



コンポストによる生ゴミの減量化

# 農家規模拡大の環境整備を急げ

## 町長 研修制度を設け経営指導等に努める。



遠山勝也議員

### 持続可能な営農対策

**遠山議員** 本町の輸送野菜の主力作物である里芋、インゲン、ゴーヤの生産若手農家の定着率が低いのは、規模拡大のための借入制度や人手不足解消のための環境整備が整っておらず、将来の農業経営像が描きにくいためだと考えるが、町長はどのように認識し、対策をどう講じていく考えであるか。

**町長** 町としても新たな若手農家の育成を図るため、青年就農給付金等の国の支援制度を活用した「研修制度」を設け、就農前の技術習得に支援を行うとともに、就農後も定着・発展が図れるよ

う関係機関と連携した重点的な経営指導等を行っている。また、施設等の導入に対しても国・県の補助事業を始め、町単独の補助事業による施設の導入を進め、近代化資金等の制度資金に対する利子補給の負担軽減を行い、資金需要に対応できるように努めている。

労働力の確保については、近隣市町村の優良事例の調査等を行い、人手不足解消に取り組んでいく。また、農地の借入制度についても農業委員や推進委員と協力して進めていく。

**遠山議員** 輸送野菜の規格外品を加工販売することで、特産品の開発や雇用の確保、生産拡大にもつながると考えるが、指導、推進を図る考えはないか。

**町長** これまでの特産品開発は、主に個々の民間で開発・販売が行わ



与論特産品販売所

れていたが、異業種間のタイアップによる商品開発及び流通システムの構築を推進し、島内産物を原料とした商品をお土産店、宿泊施設、飲食店等へ提供し普及させることで、特産品の定着へとつながり安定化していくと考える。

今後は、県加工技術センター等との連携や県

等の補助事業の導入を検討するとともに、物産展等への出展助成や情報発信などに関係する事業者等と連携して、輸送野菜の規格外品等を活用した特産品の開発や販路の開拓に取り組み、それらを担う人材や企業の育成に努めていく。

### たけしぎの灌水対策

**遠山議員** 近年頻繁に発生している干ばつ対策において、現在、灌水車と人手が不足しているという声があるが、対策を講じる考えはないか。

**町長** 灌水対策につい

ては、現在、製糖会社の車両を4台使用し、内2台は糖業振興会がオペレーターを2人雇用して、春植えを中心に灌水を行い、残り2台は生産者へ貸し出して灌水対策に努めている。

また、散水者組織組合が設立出来ないか、現在模索中である。毎年発生する干ばつなので、早めの対策を講じ車両及び人手不足を解消したい。その他の対策として、水利用組合員への使用料金の半額助成、コイン給水施設の無料開放を行い灌水対策に努めたい。



灌水対策用給水施設



# キジやカラスの対策を急げ

## 町長 鳥獣被害防止計画を作成し駆除を進める。



川村武俊議員

### 障がい児の支援体制

**川村議員** 与論町特別支援教育保護者会から長期間や連休など、子ども園や療育センターが休みの時に障がい児を預けられる施設等の要望が出されているが、その対策はどうなっているか。また、障がい児を成長後も継続して支援できる施設等の整備体制が求められているが、どのように対策を講じる考えであるか。

らっている。

### 町立3ども園の運営

**川村議員** 町立3ども園の運動会等の行事は同時開催となっている。複数の孫がいる祖父母から、行事の合同（一元化）開催や開催日時をずらせないかとの声があるが、検討する考えはないか。

**町長** 指摘のとおり、茶花・与論・那間子ども園にまたがり、複数の孫がいる祖父母の立場からすると、同じ日に行事をすると非常に困るだろうと思う。

できれば別々の日時で開催したいところだが、準備期間の問題や町の行事等との日程調整上、困難である。

合同開催についても過去に実施したことがあるが、合同練習の負担が大きく長く続かなかつたので、今後とも現状のおおりに同日個別開催に理解し

てもらいたい。

### 外来種動物等の対策

**川村議員** 以前からキジやカラス等の対策をしてほしいとの要望が出されているが、その対策はどうなっているか。

**町長** 年間を通して有害鳥獣駆除を行えるよう与論町鳥獣被害防止計画を県と協力し作成した後、カラス・キジの狩猟等の有害鳥獣の駆除を進める。

**川村議員** 野犬の数が増えつつあり、人的被害のおそれも懸念されているが、その対策はどうなっているか。

**町長** 避妊・去勢の推進及び放し飼い禁止を周知徹底し、適正な飼養管理を推進する。

### 山羊の生産振興

**川村議員** 昨今、沖繩の山羊需要の拡大によ

り本町でも山羊の飼養頭数が増えている。新たな振興策として山羊の生産拡大に取り組む考えはないか。

**町長** 山羊の出荷体制については、北部地区畜産振興センター長と協議し、市場に出荷できる体制はほぼ整っている。ただ、沖繩に出荷してから翌日のセリ市までの係留施設の確保などの課題と、今帰仁市場の山羊セリ市と本町の子牛セリ市の日程が近いこともあ



本町で飼育されている山羊

り、セリ市対応や子牛の出荷等の対応で拘束される状況にあるので、関係機関で出荷頭数の把握、流通コスト及び病気にかった時の対応など協議を重ね検討していく。

**川村議員** 山羊も牛と同様、口蹄疫に感染するおそれがあり徹底した予防対策が必要だと考えるが、その対策をどう講じていく考えであるか。

**町長** 空港及びバスポート発行場所などにも海外で家畜を飼養している農場などへの立ち入りは控えるようパンフレットの掲示をすることで注意喚起を行っている。町としては、今後とも、家畜の生産者を含め、関係機関、関係団体等と十分連携し、口蹄疫の発生予防対策及び万が一発生した場合のまん延防止対策に万全を期すよう努める。

# 花と蝶の観光地づくりを図れ

町長 関連団体と連携しながら進めていく。

## 観光振興対策



町 俊策議員

**町議員** 現在、NPO法人「与論島ウソパル学校」(代表・竹盛達氏)のメンバーが民間の支援団体の助成金を活用し、花と蝶の観光地づくりを目的として活動している。この活動に呼応して情操教育、自然観察教育の一環として、各小中学校、高校、婦人会、老人クラブ等の花園にペンタスとホウライカガミの植栽協力をお願いし、オオゴマダラを繁殖させ、蝶舞う観光地づくりを推進する考えはないか。

**町長** 蝶舞う観光地づくりの推進としては、与論島ウソパル学校が特に力を入れて大金久

遊歩道の植栽環境整備を行っているので、ホウライカガミの生育環境も向上しており、これまで以上の活動効果が期待出来るので、連携を図りながら進めていく。

**教育長** 教育委員会としては、育成会の花壇に植える花は特に指定はしていないが、協力依頼をすることは可能だと考える。

**町議員** 大金久の遊歩道は船倉まで開通し観光コースとなっているが、町道との接続地点には、景勝地である船倉海岸への誘導看板がない。また、按司根津栄神社の浜やどのの説明、鳩の湖の説明看板もない。風景と人の生活とのかかわり等の印象づけは大切な事と思うが、観光案内板等の設置についてどのような考えられているか。

**町長** 船倉海岸直近の交差点には標識柱を設置し案内を行っているが、利用者が多い古里十字路からの一連の案内ができるよう、県道からの案内表示板設置について県とも協議し連携を図りたい。浜やどのや鳩の湖については景観に配慮した形で説明看板の設置を検討する。



花の蜜を吸うオオゴマダラ

**町議員** 供利港の待合所には、周辺の見学箇所への案内板が設置されておらず、見学箇所への誘導看板も不適切

な場所に設置されている。観光地としてふさわしい看板の設置が必要だと思うが、どう対処する考えであるか。

**町長** 来島者に簡単に分かりやすく情報提供を行うことは、観光地整備として重要な施策の一つである。供利港には周囲を案内する看板がないため、待合所に周辺マップの設置を導入することは一連の案内に有効であると思われる。

また、隣接する小浜地区においては夕日の美しいビドウ小浜遊歩道公園の整備が行われており、完成に合わせて周辺マップなどの看板設置等について鹿児島県と協議していく。

## 「観光地づくりモニター」の設置

**町議員** 本町に訪れる観光客は、老若男女さまざまである。受け入

れる側も各々の客層への配慮は大切な事であると考ええる。シンクタンクに観光地づくりモニターを設置し、観光パンフレットの作成や島内設置の看板等について意見を聴取し、魅力ある観光地づくりに取り組む考えはないか。

**町長** 本町の観光行政への意見を提供してもらえる機関として、ヨロン島観光協会を中心とした関連団体があり、これまでも様々な意見をもらった。DMO組織づくりも検討されているので、観光地づくりモニターの役割を担う機関になると思われる。

様々な意見を聴取することは非常に大切なことなので、これまで以上に関連団体や観光客からの意見集約に努め、観光施策に反映させていく。



# 朝戸集落に住宅団地建設を

## 町長 土地情報を収集し、順次建設していく。



大田英勝議員

### 町内の公営住宅事情

**大田議員** 最近朝戸集落の児童・生徒が極端に減少し、地域で問題になっている。残念ながら朝戸集落には一般の公営住宅が1戸もなく、それも原因の一つではないかとの声が強くなっている。是非とも朝戸集落に住宅団地を建設してほしいが、検討する考えはないか。

**町長** 本町が管理する公営住宅等が119戸、県営住宅24戸を加えた143戸が現在の公営住宅供給戸数である。指摘のとおり朝戸集落には、公営住宅は建設されていないが、現在、他の集落も含め建

設予定地における土地情報を収集しているところであり、既存住宅の改修事業と併せて、新たな住宅を順次建設すべく計画を進めている。



新しく建設された城の住宅団地

**大田議員** 現在の教員住宅はいつ建設され、その環境はどうなっているか。古い教員住宅は建て替えやリニューアルするなど、住環境を良くすることが優秀な教師を迎えられることにもつながると思うが、検討する考えはないか。

### 教育長

最も古い建

物は昭和48年、最も新しい建物は平成19年に建設されており、築30年以上が21戸となっている。良好な環境の維持保全のため、入居者の退居時に住宅点検を実施し入居時と同等の状態への修繕を行っている。築年数が30年以上経過した住宅は、今後建て替えやリニューアルが必要だと考えられる。安全で快適な住まいを長期にわたって確保するために、修繕、改善、建て替えなど教員住宅の整備について検討していく。

### お知らせカレンダーの発行

**大田議員** 以前、毎週発行していたお知らせカレンダーは、現在、月2回の発行となっている。発行回数が減り、一回分に掲載する情報量が増えた影響からか、字が小さく読み

づらいときがある。情報が多いときは2枚仕立てにするなど、工夫・改善を図る考えはないか。

**町長** 文書配布は、小組合長の負担軽減を図ることから平成28年1月から月2回としている。月の発行回数が減ったことから、掲載する情報量が増え紙面の両面に情報を詰め込む作業の結果、文字が小さく読みづらくなっていたので、2枚仕立てや紙面サイズの変更など改善を図っていく。

### 大学入学共通テストの英語民間試験

**大田議員** 2020年度から行われる大学入学共通テストの英語民間試験は、県内全域に試験会場が設けられるのかが不透明で、受験生にとつて、受験機会や経済的負担の公平性

が確保できないのではないかと懸念の声が上がっていると聞く。少なくとも高校のある島には試験会場を設けるべきだと考えるが、教育長はどのように認識しているか。また、受験生に新たな負担が生じないように、早期に関係方面へ要請する考えはないか。

**教育長** 英語民間試験は、現在、本町では実用英語検定試験のみであり、英語検定以外のものを利用できないという選択面、さらには受験料が大きい上に受験のために島を出る費用もかかるので、他の便利な地域と比べると不利な状況であることは明らかである。大島地区の状況も把握しながら、受験生に不利益にならないような環境の構築にむけて調査や要請等を行っていく。

# わたしもひとこと



曾木 秀二氏

与論島における特別支援教育と共生社会

与論島に来て3年目を迎えましたが、私にとっては定年までの最後の1年になります。私を与論へ呼んでいた理由の一つが、特別支援教育の経験を生かした学校経営を進めてほしいということでした。私は、管理職

**プロフィール**  
○氏名 曾木 秀二  
○住所 与論町朝戸  
○役職 与論小学校長

になる前の20年間、特別支援教育に携わってきました。小学校で2校10年間特別支援学級担任やLD・ADHD通級指導教室担当者として、養護学校で2校10年間小学部や高等部の学級担任として勤務してきました。県立大島養護学校にも平成元年度から平成5年度までの5年間勤務しました。

「特殊教育」と呼ばれた時代から正式に「特別支援教育」へと移行したのは、11年前の平成19年度からです。特殊学級（特別支援学級）や盲・聾・養護学校（特別支援学校）に在籍している児童生徒だけでなく、通常の



与論小学校

学級にも約6・5パーセント在籍していると言われる「軽度発達障害」の児童生徒も注目されるようになりました。学習障害（LD）、注意欠陥多動性障害（ADHD）、高機能自閉症（HFA）が該当します。それぞれに行動特徴が見られ、子供だけでなく大人にもい

ると言われています。変わった行動をとる子供がいると、「困った子だ」「親のしつこい」と言われていきます。周囲から変な目で見られて悩んでいた自分の行動特徴が、病院で「軽度発達障害」と診断されて大変気が楽になつたという大人の事例は多数あり、テレビや本などでも紹介されています。「病气」や「障害」ではなく、「個性」というとらえ方を大事にして接していきたいものです。

「障害」の存在が学校でちゃんと指導しているのか」などと思いがちですが、「軽度発達障害」の特徴かもしれないと考える必要はありません。人間だれにでも「個性」があります。今日の社会では、「障害も一つの個性」というとらえ方が主流になりつつあります。周囲から変な目で見られて悩んでいた自分の行動特徴が、病院で「軽度発達障害」と診断されて大変気が楽になつたという大人の事例は多数あり、テレビや本などでも紹介されています。「病气」や「障害」ではなく、「個性」というとらえ方を大事にして接していきたいものです。

「個性」というとらえ方を大事にして接していきたいものです。私たちは、「共生社会」の最先端をめざすという誇りをもって、日々の生活を送っていき

## 編集後記

サッカーW杯での日本代表の活躍は未だに興奮冷めやらぬところだが、7月が我が与論町も何かと熱い。

上旬は沖縄市で九州少年卓球選手権大会があり、茶花小学校から3人の児童が出場する。また、中旬には熊本市で九州高等学校水泳競技大会があり、与論高校から3人の選手が5種目の競技に出場する。下旬には神戸市で全日本卓球選手権大会（カブの部）があり、茶花小から1人が出場する。これら出場者の健闘を願うとともに、大会出場を契機に飛躍的に成長することを期待したい。

ここに第128号を発行できたことを、町民及び関係各位に感謝申し上げます。

(大田)